

ペテンの HFR 原子炉再起動に関する続報

ペテン、2008 年 12 月 5 日

NRG 社は一次冷却水系に少量のガス放出が観察されたため本年 8 月に主要年度保守、検査終了後、HFR 炉を再起動しませんでした。このガス放出はコンクリートで囲まれた外部との境界部分の腐食が原因でした。NRG 社ではオランダ国内外の専門家を動員して原子炉の再起動のため努力しております。

昨日、冷却水系にスリーブを導入する詳細改修計画が完成しました。改修の複雑さ及び作業に高度な精度が必要のため、今回の改修を完了させるには更に数ヶ月間の遅延となることが判明しました。理由は、使用される材料や作業工程の品質試験、及び作業技術者の訓練等が必要になるからです。

ヘルスケア製品の供給やエネルギー研究のために HFR 炉の運転が重要であることを鑑み、NRG 社では現在一日でも早い原子炉の再起動のための可能性に取り組んでいます。現在のところ過去数ヶ月間で得られた詳細調査、試験、測定等の幅広いデータを下に検証を続けています。

より詳しい情報に関しましては NRG コミュニケーション、Leontien Zuurbier,

電話 : +31(0)224-568050

email: zuurbier@nrg.eu.